



2025年4月1日 第43号

J P 労組新潟連協退職者の会
〒951-8799 新潟市中央区東堀通
七番町 1018 新潟中郵便局内
発行責任者 会長 山田 太郎

第1回支部代表者会議・第2回拡大幹事会開催 !!

1月17日、新潟市万代シルバーホテルにおいて新潟連協退職者の会「第1回支部代表者会議・第2回拡大幹事会」及び「みらい研合同政治学習会」並びに「新潟連協新春の集い」を開催した。

第1回支部代表者会議・第2回拡大幹事会では内藤副会長を座長に選出し、出席数26名を確認後、山田会長より、第50回衆議院総選挙の御礼



と現下の政治情勢、小沢まさひと選挙の取り組みの現状、会員拡大に向けた連協別拡大幹事会開催の趣旨と対応について挨拶があった。続いて、福井連協議長から、25春闘のスケジュール感と要求概要、小沢まさひと選挙の協力につ

いて挨拶を受けた。議事(内容・左記)では各事項について意見交換を行うとともに確認し、今年度の最大の目的である「小沢まさひと」、「打越さくら」両参議院議員の2期目の再選に向け、意識統一をはかった。

～ 第1回支部代表者会議・第2回拡大幹事会 議題 ～

<報告事項>

- 1 活動報告
- 2 支部退職者の会第10回総会開催状況
- 3 信越地方退職者の会第1回幹事会概要
- 4 新潟県退職者連合第2回拡大幹事会概要
- 5 第50回衆議院議員総選挙結果

<協議事項>

- 1 「小沢まさひと」選挙の取り組み
- 2 会員拡大の現状
- 3 連協別拡大幹事会の開催日程と参加対応
- 4 2025年春季会員拡大に向けた取り組み

<周知事項>

- 1 みらい研学習会・新春の集い日程確認
- 2 2024年度後半期の活動計画
- 3 「選択的夫婦別姓の早期実現を求める」団体署名

J P 労組新潟連協「新春の集い」盛大に開催される！

みらい研政治学習会終了後、来賓25名、現役54名、退職者の会27名の計106名の参加により、新潟連協「新春の集い」が盛大に開催された。福井連協議長の開会挨拶の後、連合新潟小林会長をはじめ、8名の来賓からご挨拶をいただき、乾杯後、新潟選挙区選出5名の立憲民主党の衆議院議員から今国会論戦への決意等が示された。

歓談では現退で親睦と交流を深める中、恐竜も登場するなど福引抽選会も行われ盛會裏のうちに終了となった。

【福井議長あいさつ】



【福引抽選会】



“小沢まさひと” Information Garden



新潟連協現退合同「みらい研政治学習会」を退職者の会29名、現役52名、計81名の参加者により開催した。

冒頭、新潟連協福井議長の挨拶の後、関川副議長よりみらい研（郵政未来研究会）の取り組みとして、政策勉強会や政治啓発セミナーの開催、組織内議員や政策議員フォーラム会員に対する支援、会報

みらい研合同政治学習会の開催！

誌や各種政策資料を発行していること。更には、みらい研の結成の趣旨やJ P 労組が政治活動に関わる必要性、みらい研の加入状況（新潟連協約65%）及び会員拡大の要請などについて説明があった。

続いて、打越さくら参議院議員より「本当の多様性を実現する政治へ」のテーマで講演を受けた後、小沢まさひと



【小沢まさひと参議院議員：国政報告】

参議院議員から、郵政グループの政治的課題の解決に向けて取り組んでいることや政治改革の動向、25年度政府提出予算案、社会保障制度をめぐる議論、選択的夫婦別姓の実現など多岐に渡る国政報告とともに、2期目の当選に向けた力強い決意表明を受けた。結びは山田会長の団結ガンバロウで意思結集をはかったところである。

【山田会長：団結ガンバロウ】



【小沢・打越両議員：固い握手】



【関川副議長：みらい研オルグ】



【小沢まさひと後援会加入状況（左表）】

1月末現在、100%を達成した支部は下越・新津・西蒲原・中越・魚沼・上越です。最終集約は1月末としましたが、2月以降提出された分については3月末を目途に連協へ報告願います。

なお、後援会加入のお礼状を昨年9月以降、2,650通郵送しました。

支部	会員・家族	紹介者	合計	提出率% (3票/人)
新 潟	246	99	345	68.5
佐 渡	33	25	58	30.2
下 越	381	315	696	113.7
新 津	394	154	548	104.4
西 蒲 原	230	66	296	105.0
三 条	206	57	263	94.3
中 越	807	445	1,252	123.8
魚 沼	323	141	464	102.4
上 越	697	504	1,201	125.5
合 計	3,317	1,806	5,123	106.4

J P 労組退職者の会主催「連協別拡大幹事会」を開催 !!

3月2日(日)、「ホテルニューオータニ長岡」においてJ P 労組退職者の会主催の「連協別拡大幹事会」を退職者の会会員109名、現役27名、計136名の参加者により開催した。主題は小沢まさひと選挙と会員拡大の2点について。冒頭、中央退職者の会長谷川副会長、連協退職者の会山田会長、福井議長から挨拶を受け、その後、山田会長から・第27回参議院選挙の取り組みの現状と対応、並びに現下の政治情勢について、新潟県退職者連合会長としての情報も含め心に響くオルグを受けた。

会員の拡大に全力を挙げよう!



<A君は退職者で当たるか?>



【中央退職者の会
長谷川副会長 提案】

全体会議終了後、支部別に「現退打合せ会(分散会)」を開催した。3月末60歳役職定年を迎える組合員について正会員と協会員の対象者に分け、具体的な行動を確認した後、それぞれ解散となった。

続いて、長谷川副会長より会員拡大について「1〜3月にかけて全国58連協で拡大幹事会を開催している。退職者の会結成以降、新潟連協は全国で運動をリードしており、小沢後援会加入の取り組み及びみらい研加入数からも一目瞭然である。これは、現退一体の運動と支部退職者の会の活動が活性化している賜物と聞いている。本日も会員拡大に向けた打ち合わせで十分に意思疎通をはかっていただきたい。」旨の挨拶を受けた。

<集中した作戦会議!>



【会場から意見要望】

後期支部共済担当者
会議 概要

J P 労組信越主催の「2024年度後期支部共済担当者会議」が2月21日、高崎市「ホテルメトロポリタン高崎」において、地本共済運営委員、新潟・長野両連協の支部共済担当者の会、及び両連協退職者の会、計60名が参加する中で開催され、新潟連協退職者の会からは魚沼支部佐藤会長と連協河内事務局長が参加した。



【塚野地方共済運営委員長あいさつ】

冒頭、塚野地方共済運営委員長(地本委員長)から組織運動と共済活動の大切さについて思いを込めた、示唆に富んだ挨拶を受けた。その後、関係団体(郵愛・こくみん共済COOP・長野推進本部)からご挨拶と取扱商品の説明後、綿貫共済事務局長(地本執行委員)から「2024年度前期の推進状況と後期の取り組みについて」及び「共済活動の強化に向けた体制づくり等について」信越共済ブランドデザインについて説明が行われた。意見交換後、後期の活動推進について意識統一をはかり、会議終了後は全体で懇親会を開催し、親睦と交流をはかった。改めて、労働運動の原点は「助け合い、支え合い」であることを認識するとともに、J P 労組に加入しているからこそスケールメリットを享受できることを実感したところである。

今、第43号から「J P 労組」や「日本郵政グループ」の特徴的なニュースを掲載します。なお、紙面の都合上、不定期な掲載とならざるを得ないことをご了承ください。

J P トピックス

J P 労組は2月7日、東京都において第25回中央委員会を開催した。本委員会は「将来ビジョン(※)」の実現に向けた議論と25春闘方針の確立を主たる任務としている。

議事では石川執行委員長あいさつ、一般経過報告、会計報告、会計監査報告に続き議案提案の後、13 地方本部による質疑が行われた。

各地方本部の意見を受け中央本部から平和問題、春闘や政治課題など9点にわたり見解が示され、議案は全体の拍手により承認された。

(※) 将来ビジョンとは賃金・処遇の維持・向上と、格差を是正するための「同一労働同一賃金」をめざし、組合員一人ひとりが日本郵政グループで働くことよって思い描く人生設計が実現できるような「働き方」「事業のあり方」「それらと整合的かつ補完的な人事諸制度」をトータル的に検討・議論し、その実現をめざしていく、将来に向けて安心して働き続けることのできる「めざすべき姿」を描き、一から作り直そうという取り組み。

J P 労組は2月17日、日本郵政グループ主要4社に対して「2025春季生活闘争要求書」を提出し、3月13日の回答指定日に向けて全力で交渉を展開するとしている。

《 要 求 項 目 》

I. 格差是正と人材確保に向けた賃金改善

1. 正社員の定期昇給を完全実施すること
2. 正社員の基準内賃金を15,000円引き上げること
3. 正社員の一時金を年間4.6月支給すること
4. 月給制契約社員の基本月額を15,000円引き上げること
5. 時給制契約社員の時間給を70円引き上げること
6. 月給制契約社員および時給制契約社員の一時金係数を引き上げること

II. 事業を持続させていくための労働力確保等 (略)

III. 安心して働き続けることができる環境整備等 (略)

「悠友会」第9回

ゴルフ大会開催



「悠友会」の第9回ゴルフ大会が2024年10月4日、「大新潟ゴルフントリークラブ出雲崎コース」にて開催され、現役組合員11名を含め県内各地より41名の仲間が参加しました。

ときおり霧雨が降る程度の天候の中、熱中症の心配もなく快適にプレーを続けていましたが、午後から天気は急転し横殴りの雨風に見舞われました。以降のプレー続行は困難と判断しやむなく中止としました。

J P 労組新潟連協は年に2回のゴルフ大会を開催しており、春は現役の主催、秋は退職者の会の当番でもあり、大会の準備を重ねてきました。



- 優勝 西蒲原支部 樋口 俊博(中)
- 準優勝 中越支部 稲庭 伸治(左)
- 第三位 中越支部 古川原信孝(右)



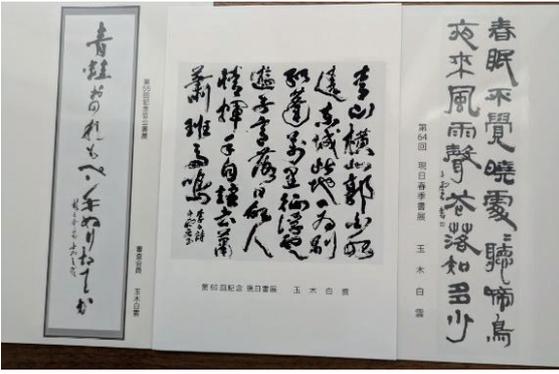
【表彰式：満足感と充実感】

会を重ねるごとに高齢や体調不良等により参加を見送る常連客も増えていきます。一方、定年を迎え退職者の会会員となつて参加する新たな顔ぶれも増えていきます。今回も現役組合員からの参加が多くあり、現退一体の交流がはかられた大会となりました。次年度は記念すべき第10回大会となります。悠友会役員会では、このメモリアル大会をどこで、どのように趣向を凝らして開催するか、今から頭を悩ませています。(紙面の都合により今号での掲載となりました。)

長寿で健康 生き生きコーナー

書の道を楽しむ

西蒲原支部・玉木俊春さん(六七歳)



私は書道を始めてから五十年ほどになりますが、まだまだこれといった作品はありません。書道と言っても、漢字、かな、漢字かな交じり、篆刻(てんこく)、刻字など多彩であります。これらをみんなこなして行くには簡単ではないのです。

漢字も楷書、行書、草書、隷書、篆書など様々あり、この五種類の中に、また色々な書き方があって筆の使い方が違うものです。その線、一本一本一本を習得するにも何十年もかかるものです。

これらを考えると書をやる人がいなくなりそうですが、逆に美味いかなんかから楽しいと考えると気が楽になり色々書いてみると面白いものです。

こんな書道人生ですが、県展、芸展に数十回の入選をはじめ、産経国際書展では特選や産経準大賞、官公書道展においては特選、東京都知事賞(石原慎太郎)、令和五年には文部科学大臣賞をいただきました。

今後も自分の好きな字を書いていきたいと同時にあまり肩のこらない作品にしたいと思っております。これからも長く書を楽しんでいきたいと考えています。



【文部科学大臣賞】受賞作品

俳句・絵画・書などの文芸作品や支部イベント模様等を募集しています。応募は、葉書か適宜用紙に「作品・支部・氏名」を記入し、絵画・書・手作り作品は、写真に撮って封書で送付してください。また、支部イベント等は説明文400字程度、写真2・3枚をつけ報告者氏名を記してください。メールでデータ送信可能な支部(人)は、裏面のアドレスをお願いします。

88歳「長寿のお祝い」

支部名	氏名	支部名	氏名	支部名	氏名
新潟	青木 珠	下越	松村 ヨシ	中越	星 二三子
	本間 謙三郎		吉田 光子		本間 宏
	丸山 勲		渡辺 五月		諸橋 清一
	宮川 寿子	長谷川 一郎	吉川 実		
佐渡	村田 博隆	新津	波田野 三男	魚沼	鷲尾 行雄
	高田 キクエ		本望 キヨ		大島 セツ
	西川 朝子	渡辺 兵一	大月 一義		
下越	山下 敬爾	三条	大島 正人	上越	狩野 敏行
	石川 政男		金子 良子		金平 之宏
	稲葉 れい		久須 美浩		斉藤 千恵子
	大久保 久枝	森口 静枝	佐藤 トミ子		
	佐藤 雅道	青柳 光政	藤縄 和恵		
	鈴木 俊二	小林 誠治	宮崎 圭太		
	本田 耕平	小林 広太郎	森 正夫		
	本間 彰	新保 順之	山田 喜弘		
本間 忠哉	野口 勇	計	47名		
					《敬称略》

今年度の「長寿のお祝い」は、2025年4月1日から2026年3月31日までの間に88歳を迎えられる会員が対象となります。この間のご労苦に対し4月20日の郵政記念日に合わせ、J P 労組中央本部から記念品が右記の会員に届けられます。

お知らせコーナー

おめでとうございます

お悔やみ申し上げます

慶事	月	お名前	支部
喜 寿	12月	竹中 秀夫	新潟
		滝澤 明彦	中越
		青柳 文子	中越
		小林 照男	中越
	1月	渡辺 幹雄	下越
		佐野 賢二	西蒲原
		本間 賢一	西蒲原
		渡辺 一郎	中越
		山崎 洋子	中越
		宮下 彰	上越
		中村 正	上越
		池上 一義	上越
	2月	藤田 隆	新潟
		鈴木 昭次	新潟
		石原 孝一	佐渡
		太田 正人	下越
		石黒 正晴	三条
		小林 誠一	中越
丸山 文雄		中越	
桑原 武司		中越	
桑野 志郎	中越		
小島 民雄	魚沼		
関谷 昭栄	上越		

《敬称略》

月	お名前	支部	ご逝去日
11月	阿部 明	中越	18日
12月	吉田 寔	西蒲原	7日
	大滝 留六	上越	15日
	島倉 常栄	中越	19日
	中山 東一	中越	21日
	庄司 イツ	新潟	22日
	神林 松平	中越	28日
	岡村 正利	魚沼	30日
	下村 一夫	下越	31日
1月	織田 捷一	上越	1日
	中川 行	新津	6日
	佐藤 喜美子	新潟	8日
	柳 三郎	新潟	10日
	中村 春美	下越	21日
	清水 二美夫	上越	24日
2月	佐藤 賢一	新津	17日
	久我 弘	中越	19日
	池田 長一	上越	20日
	西牧 直治	佐渡	23日

《敬称略》

【年会費・連協連絡先】
 4月15日は連協退職者の会 年会費（2,500円）の自払い引落日です。引落日のご確認をお願いします。
 連協退職者の会 Fax：025-227-1125
 メールアドレス：niigatarenkyo@jprouso.or.jp

雑感

◆この冬は特に2月、立春となつてから厳寒となり、数年に一度といわれる大雪となつた。一方、夏期は温暖化により地球の北半球が焼けて、猛暑日の頻発と天候不順による豪雨が至る所で発生する。

◆温暖であるが故に海面水温が上昇し水蒸気が大量に発生する。そこに北からの強い寒気が流れ込み日本海側が猛吹雪・ドカ雪となる。そんな。その後、雪を落とすに到達した乾いた空気が太平洋側に続くという仕組み。正に「トンネルを抜けたらそこは同じ日本が別世界」

◆さて、春といえば現在佳境の「25春闘」。J P 労組は賃金改善、労働力確保、環境整備等を求めている（4頁参照）。次号では要結結果を掲載するが、22万余組合員の切実な要求が結実することを期待している。

◆3月に産別・大手企業の春闘が終了すると、日本の経済を支える中小・小規模企業の春闘交渉が始まる。こちらの経緯や結果も注目したい。

◆3月中旬には選抜高校野球大会が始まり、大リーグや日本プロ野球も球春を迎える。重いコート脱いで出かける。重いかの季節。雪の国の住人だからこそ、本格的な春の気配や香りが待ち遠しい。（3月8日記）